

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

助成団体	公益財団法人日本バスケットボール協会
事業細目名	国際競技大会開催事業
事業名	FIBA バスケットボールワールドカップ 2023
助成金額	200,000,000 円

■調査内容

令和5年度国際競技大会開催助成を受け、「FIBA バスケットボールワールドカップ 2023」を開催した公益財団法人日本バスケットボール協会の調査を実施しました。

FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 は、予選ラウンドをフィリピン・インドネシアそして日本の3か国に開催地を分けて開催し、各予選ラウンドで通過した2か国がフィリピンにて開催される決勝ラウンドに進めるという大会の形態で、公益財団法人日本バスケットボール協会では日本開催の予選を統括し開催しています。日本開催は全試合沖縄アリーナで試合が行われています。沖縄県では、空港やモノレールの駅、メインの観光スポットである国際通りや県庁内など、至る所にサインを掲げており、県全体として盛り上げようという雰囲気を感じました。

沖縄アリーナは2021年の2月に完成した新しいアリーナで、最新の設備と、ワイヤー吊りカメラや高速レールカメラによる迫力のある映像、どの座席からでも臨場感溢れる観戦が可能な設計の効果で、選手と観客が一体となって熱気のある空間を作り出せる会場です。調査当日に行われた「カーボベルデ対ベネズエラ」「スロベニア対ジョージア」のどちらの試合も、試合内容はもちろん、観客席からの熱気が選手を包み込み、より試合展開が熱くなるような場面も多く見られました。

沖縄県内の子供たち約1,000人を観戦に招待したことで、大きな歓声やどよめきが会場内に響き渡りさらに大会を盛り上げていました。そのような姿をみても子供たちの成長とバスケットボールの普及に必ずつながると感じました。

本大会への助成は、助成事業者の公益財団法人日本バスケットボール協会とこの大会への一助となるとだけでなく、日本全体のバスケットボールの振興や開催地となった沖縄県のスポーツ振興にも、大きな好影響があったものと考えます。また、連日大会の盛り上がりがテレビ中継されたり、ニュース等で取り上げられたことで、日本国内でバスケットボールがさらに普及し、すそ野の拡大や競技力の向上によい影響が出てくることを楽しみにしています。

(令和5年8月28日往査)

(写真) FIBA バスケットボールワールドカップ 2023 の様子

(※写真提供：公益財団法人日本バスケットボール協会)

